

2025年度 学力試験問題

一般入試 I 期 B (1/26)

国 語

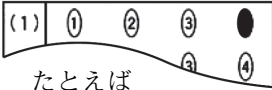
[60分]

- 注意**
1. 試験開始の合図があるまでこの冊子は開いてはいけません。
 2. この冊子は18ページあります。ページの脱落や解答用紙の汚れがあった場合には、監督者に申し出てください。
 3. 問題冊子には受付番号を記入してください。
 4. 解答は解答用紙の解答欄にマークしてください。
 5. 問題冊子は持ち帰ってもかまいません。

マーク式解答用紙の記入上の注意

1. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆で記入してください。

2. マークの記入方法

「正しい例」	「悪い例」	 <p>たとえば 解答欄(1)に4と 解答する場合、 正確にマークして ください。</p>
●	うすい ●	
	ほそい ○	
	短い ○	
	はみだし ●	

3. 訂正するときは消しゴムでいねいに消し、消しくずを残さないでください。
右図のように×印をつけても消したことはありません。
また指定欄以外には何も記入しないでください。



- ◎ 解答用紙には受付番号と氏名を記入してください。
受付番号は左端から記入し、受付番号欄のマーク欄にも必ずマークしてください。
- ◎ 受付番号を正しくマークしていない場合、採点できないことがあります。

受 付 番 号

--

一、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

私たちが今、とても幸福な状態にあるとしましょう。すべてが満ち足りている。何もかもが楽しく思える。目にするすべてが美しくみえる。そんな状態が、幸福という言葉からは連想されず。

幸福な状態にある人が思うことは、ただ一つ。その状態がいつまでも続いてほしい。そう願うことでしよう。幸福は、継続を求めるものなのです。

幸福を周囲に感じさせる例として、結婚式の披露宴があります。私もたまにむかしの学生や職場の同リヨウから、披露宴に招かれたりします。会場のひな壇に座る新郎・新婦は、まさに幸福のオーラに包まれているものです。友人からのスピーチや恋愛時代の写真が紹介されて、ときおり顔を見合わせてにこやかにほほ笑みあつたり。二人は、この幸福が永遠に続きますようにと、ゼツタイにあり得ないことを本気で信じていたりします。

「A」を求める幸福に対し、希望は「B」と密接な関係があります。夢とちがつて希望は、苦しい現実のなかで「1」にあえて持とうとするものです。過酷な現在の状況から良い方向に改善したい。苦しみから少しでもラクになりたい。「a」誰かをラクにしてあげたい。そんな思いが、希望という言葉には宿っているのです。

希望は、現状の維持を望むというよりは、現状を未来に向かって変化させていきたいと考えるときに、表れる

ものなのです。

だとすれば、希望を持つためには、きびしい現実から目を ア ことが、まず重要になってきます。過去から現在まで続いている挫折や試練を正面から受け止めることで、その状況を変えるんだという思いは、生まれ
ます。

ただ、変化を起こすことが、一人ひとりの力だけではむずかしいこともあります。そんなときは、同じ変化を希望する人たちと、どんな方向に変えていきたいのかという希望をともしながら、一緒に行動できるかどうか
に、変化の実現はかかってきます。

幸福と希望は、人生によるこびを得るための二つの大きな要素です。幸福と希望のどちらがすぐれていて、ど
ちらが劣っているというものではありません。頑張ればずっと変わらずに守り続けられるものがあって、維持で
きる見通しがあれば、それは幸福につながります。 b、現状のきびしさを認めつつも、より良い未来が

待っていると信じられるような変化が期待できるときに、希望はハグクま^②れていくのです。

希望、夢、幸福などと並んで、近年とみに重要視されている価値観が、安心です。

¹ 安心は、希望とは大きく異なるものです。安心が今日これだけ注目されるようになったのは、それだけ不安が
広がっていることの裏返しです。将来の先行きが見えないとか、経済の不確実性が高まっているという思いが、
安心を求める気持ちを強めているのです。

では、どうしても安心は得られるのでしょうか。たとえば老後の生活の問題で、政府が「安心してください、年金は必ず受け取れます」といったとします。しかし、それが確実に保シヨウ③されているという見通しがなければ、安心はできません。安心には確実であることが欠かせない条件です。

それに対して希望は、先行きが確実にみえているわけではありません。c 希望は、きびしい状況のなかで、先がみえないからこそ、勇気をもって前に進むために必要とされるものです。ある程度の見通しを持たないうが希望は持ちやすいこともありますが、かといって先が完全にみえてしまっているのであれば、希望など持つ必要もなくなります。

希望を持つとは、先がどうなるかわからないときでさえ、何かの実現を追い求める行為です。安心が確実な結果を求めるものとすれば、希望は模索の過程（プロセス）そのものなのです。

不安が大きい社会では、つい確実なものを求めがちになります。しかし不安を招きやすい、変化の激しい時代には、かつて確実と思っていたものが、あつという間に役に立たなくなったりします。

いつとき、プロ野球の世界で「勝利の方程式」といういい方が流行したことがありました。先発ピッチャーが交代した後、二番手は誰、その後の三番手は誰、そして最後の抑えは誰と確実に決めておけば、勝利に結びつきやすいと考えられました。

勝利の方程式があれば、安心してピッチャーの継投策を考えることができます。d それで成功したチームもありましたが、そんな成功もふりかえってみれば、2 なものにはすぎませんでした。チームのピッ

チャーの状態も変わりますし、相手チームの打線の特徴も年々変わっていくでしょう。そうなれば、状況の変化にあわせて方程式も変えていかなければなりません。イの勝利の方程式など、あつたら安心ですが、本当はどこにもないのです。

希望も同じです。どうすればもっとよい将来をもたらすことができるかを考え、ときに思い悩みながら、ウを続ける。そこから希望は、生まれるのです。

安心に比べれば、希望には、不安や不確実性がつきものです。でも、みんなが安心を与えられることばかりを求めて、自分から模索することを望まない社会なんて、実におもしろみのない社会です。

(玄田有史『希望のつくり方』より・一部改変)

問一 傍線部①②③のカタカナ部分に相当する漢字を含む熟語はどれか。次の各群の1く4からそれぞれ一つ選べ。

- | | | | | | | | | |
|---|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| ① | 1 | 学生リヨウ | 2 | 閣リヨウ会議 | 3 | リヨウ海侵犯 | 4 | 天皇リヨウ |
| ② | 1 | イク成計画 | 2 | ヨウ子縁組 | 3 | シュ秘義務 | 4 | テン示案内 |
| ③ | 1 | 五輪シヨウ致 | 2 | 連作シヨウ害 | 3 | 身元シヨウ会 | 4 | シヨウ明問題 |

問二 波線部㊸「とみに」の意味としてもつとも適切なものはどれか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 非常に
- 2 特別に
- 3 不思議に
- 4 急に

解答欄(4)にマークすること

- ① は解答欄(1)にマークすること
- ② は解答欄(2)にマークすること
- ③ は解答欄(3)にマークすること

問三 空欄 1、2 に入るもつとも適切な語はどれか。次の1～4からそれぞれ一つ選べ。

- 1 一時的
- 2 相対的
- 3 観念的
- 4 意識的

- 1 は解答欄(5)にマークすること
- 2 は解答欄(6)にマークすること

問四 空欄 に入るもつとも適切な語はどれか。次の1～4からそれぞれ一つ選べ。

- 1 一方で
- 2 もしくは
- 3 むしろ
- 4 たしかに

は解答欄(7)にマークすること

は解答欄(8)にマークすること

は解答欄(9)にマークすること

は解答欄(10)にマークすること

問五 空欄 、 に入るもつとも適切な語はどれか。次の1～4からそれぞれ一つ選べ。

- 1 理想
- 2 変化
- 3 継続
- 4 現実

は解答欄(11)にマークすること

は解答欄(12)にマークすること

問六 空欄 に入るもつとも適切な語句はどれか。次の各群の1～4からそれぞれ一つ選べ。

ア	1	退けない	2	除けない	3	避けない	4	背けない
イ	1	永久不変	2	不易流行	3	融通無碍 ^げ	4	緩急自在
ウ	1	反転攻勢	2	試行錯誤	3	沈思黙考	4	方程式化

は解答欄(13)にマークすること

は解答欄(14)にマークすること

は解答欄(15)にマークすること

問七 本文の筆者が二重傍線部Iのように考えるのはなぜか。もつとも適切なものを次の1～4から一つ選べ。

- 1 安心とは異なり、希望は不安が広がっているときに求められるものであるから。
- 2 安心が経済的な公平性を求めるものであるのに対し、希望は政治的な公正を求めるものであるから。
- 3 安心とは異なり、希望には先行きの不安や不確実性がつきものであるから。
- 4 安心が人びとに幸福を約束するものであるのに対し、希望は人びとに勇気を与えるものであるから。

解答欄(16)にマークすること

問八 本文の内容と合致するものはどれか。もつとも適切なものを次の1～4から一つ選べ。

- 1 希望を実現させるためには、状況を変える強い思いを持った人びとの連帯が不可欠である。
- 2 すべてが満ち足りていてという状態はあり得ず、ゆえに人びとは幸福を求めらる。
- 3 近年の年金政策に対する不信感から、多くの人びとが安定を重要視するようになった。
- 4 幸福は現状の肯定と、希望は現状の否定と密接に結びついている。

解答欄(17)にマークすること

問九 本文のタイトルとしてもつとも適切なものはどれか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 希望とは何か
- 2 幸福から希望へ
- 3 希望と安心
- 4 希望の外的条件

解答欄(18)にマークすること

二、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

※道元の、教えを説く言葉はむずかしい。それは並大①のむずかしさではない。注釈書をかたわらに置いて読んでも分らないむずかしさである。いや、現代語の訳を読んでも道元には歯が立たない。わたしたちは、たとえば寺田透、水野弥穂子両氏による、じつによくできた注釈書（日本思想大系『道元』上下、岩波書店）を持っているが、この最良の手引書のたすけをかりても、（a）道元はチンプンカンピンなのだ。これはいつたいどうしたことなのだろうか。わたしにおぼろげながら見当がつくのは、道元は「A」ではないかということである。【I】

言葉は不完全なものである。言葉をつくったのは社会だ。（b）社会共通の慣習の最たるものが言葉なのである。言い方をかえれば、人間は「B」、何十年もかかって言葉を学びながら、すこしずつその使い手になるのである。つまり言葉というものは、個人の側から見れば「出来合^アい」なのだ。中古の、おさがりの、「C」である。【II】

一例をあげよう。なぜ、わたしたちは「D」というのか。わたしたちは、太陽が動くのではなく、地球が自転しているのだということをよく知っている。だからたとえば「日が見えてきた」、あるいは「日が見えなくなってしまった」と書くべきであるのに、^②イ然として天動説時代の言い方を捨てようとしな。 「筆記用具」に

しても事情は同じで、だれもかもシャープペンシルやボールペンを用いているのに、(c)筆を日常で使う人はだれもないのに、字を書く道具は、あいかわらず筆記用具と総シヨウウされているのである。このように言葉というものは驚くほど保守的である。【Ⅲ】

これに対して、道元が書こうとしたのは、心の生活である。内的体験である。彼は自分の心のなかに起った精神の劇を書こうとした。精神の劇は、具体的だ。人間の心の生活はどんな人のものであっても特シユだ。そして微妙で、流動的で、生き生きとしており、おまけに「E」なものである。【Ⅳ】

このように混沌未分の内的体験を、保守的で、出来合いの、ごくごく大雑把な言葉で表現しなければならぬのだから大変である。とくに道元が言葉にしようとしたことは、「F」新しいホトケの道だった。それを従来、ありきたりの言葉で掬い上げることができらうか。できやしない。それは不可能なことだ。だが、道元は「G」。こうして道元の文章は読解不能の難文字となった。

つまり道元の文章は、^X少なくとも半分は社会的形成物ではないのである。道元の言話世界の内側に属する、道元にしか分らない言葉の羅列であって、そのことがわたしたちの感動を誘う。この偉大な先達はそこまでしても、自分の心の裡に起った大発見を言葉にしたのかと思うと、なんだか胸が切なくなってくるのである。もとより道元は、自分の心の生活に訪れた感動を、他人にも伝えようとして文章を綴ったのではなかった。心のなかでぴかぴかと閃いた真理の光、それをよりはっきりと掴むために言葉の力をかりて文章という形に成し、この作業を

積み上げながら精神の荒野を耕しつづけたのだろう。

書物を読むという行為は、言葉から入って、文章を仲立ちに、書き手の心の生活にたどりつくことだ。書き手の心の生活に訪れた感動だの発見だのをつきとめることだ。そしてその感動だの発見だのを、自分の心の生活にも起ったこととして、読み手側もやはり己が精神の荒野を耕すのである。書き手の精神の劇を、読み手側も体験すること、それが読書という行為だろうと思う。だが、道元の言葉は難解で、わたしたちを容易に彼の心の生活へ踏み込ませようとしない。だからこそ逆に、道元の言語世界だけに通用するルールや語釈法を、注釈書を手引きによく究め、一カ月もかかって彼の文章の一行の意味を理解するとき、(d)、その一行を書かずにはいられなかった道元の心の生活を覗き見たとき、わたしたちのよろこびは途方もなく大きい。

〔井上ユリ編『ひと・ヒト・人 井上ひさしベスト・エッセイ続』より〕

※道元 鎌倉時代初期の禅僧。曹洞宗の宗祖。

問一 傍線部①～④のカタカナ部分に当たる漢字と同じ漢字を使用するものはどれか。次の各群の1～4からそ

れぞれ一つ選べ。

- | | | | | |
|---|---|----------|---|-----------|
| ① | 1 | 法律の改テイ | 2 | テイ抗する勢力 |
| | 3 | 裁判所への出テイ | 4 | 記念品の進テイ |
| ② | 1 | イ外な展開 | 2 | 権イの象徴 |
| | 3 | イ論の展開 | 4 | 他社へのイ存 |
| ③ | 1 | 特別な受シヨウ | 2 | 第一シヨウを書く |
| | 3 | 名誉なシヨウ号 | 4 | 本文からのシヨウ出 |
| ④ | 1 | シュ勝な心がけ | 2 | シュ玉の逸品 |
| | 3 | シュ味の囲碁 | 4 | シュ備の交代 |
- ①は解答欄(19)にマークすること
②は解答欄(20)にマークすること
③は解答欄(21)にマークすること
④は解答欄(22)にマークすること

問二 空欄「A」に入るもつとも適切な語はどれか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 現実の壁にまともにぶつかった
- 2 真理の壁にまともにぶつかった
- 3 言語の壁にまともにぶつかった
- 4 人生の壁にまともにぶつかった

解答欄(23)にマークすること

問三 空欄「B」に入るもつとも適当な語はどれか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 言葉のない「国」に生まれ
- 2 言葉の「外」へ生み落され
- 3 言葉の「壁」に挟まれ
- 4 言葉を「内」に忘れ去り

解答欄(24)にマークすること

問四 空欄（a）～（d）に入るもつとも適切な語の組み合わせはどれか。次の1～4から一つ選べ。

- | | | | | |
|---|---------|-------|---------|---------|
| 1 | a すなわち | b つまり | c ところが | d したがって |
| 2 | a ところが | b しかも | c したがって | d そして |
| 3 | a したがって | b そして | c しかし | d ところが |
| 4 | a やはり | b つまり | c そして | d すなわち |

解答欄(25)にマークすること

問五 波線部アの説明としてもつとも適切なものはどれか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 自分で作ったものやこと。
- 2 よく出来ていてびったり合っているものやこと。
- 3 すでに作ってあるものやこと。
- 4 制作者の意図や思いばかりが反映されているものやこと。

解答欄(26)にマークすること

問六 空欄〔C〕に入るもつとも適切な内容はどれか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 心配事
- 2 関心事
- 3 絵空事
- 4 約束事

解答欄(27)にマークすること

問七 空欄〔D〕に入るもつとも適切な一文はどれか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 「日がのぼった」、あるいは「日が沈んだ」
- 2 「日を照らせた」、あるいは「目を陰らせた」
- 3 「日が浅い」、あるいは「日が経っている」
- 4 「日を見たい」、あるいは「日を見たくない」

解答欄(28)にマークすること

問八 空欄「E」に入るもつとも適切なものはどれか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 不相応
- 2 不注意
- 3 不気味
- 4 不合理

解答欄(29)にマークすること

問九 次の一文が入るのはどこか。本文の【I】～【IV】から一つ選べ。

ごくごく大雑把な、古くさいものなのである。じつに保守的なしろものなのだ。

- 1 I
- 2 II
- 3 III
- 4 IV

解答欄(30)にマークすること

問十 空欄「 F 」に入るもつとも適切なものはどれか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 それまで日本国でだれひとり思いつきもしなかった
- 2 道元でも表現し尽くすことのできない
- 3 言葉にとらわれてだれひとり思いつきもしなかった
- 4 仏教を志す者でも理解することのできない

解答欄(31)にマークすること

問十一 空欄「 G 」に入るもつとも適切な語はどれか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 その不可能ごとに過信して挑んだ
- 2 その不可能ごとにあえて挑んだ
- 3 その不可能ごとに仏教を思い挑んだ
- 4 その不可能ごとに修行として挑んだ

解答欄(32)にマークすること

問十二 波線部Xの意味としてもっとも適切なものはどれか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 道元の文章は、もともとが社会に理解できる者がいないと考え記されているのである。
- 2 道元の文章が難解なのは、常人にはできないことをした道元に責任の半分があるのである。
- 3 道元の文章の半分は、社会を形成するためには役立っていないのである。
- 4 道元が記す内的体験は、社会共通の慣習的な言葉では表現しきれないのである。

解答欄(33)にマークすること

問十三 波線部Yの意味としてもっとも適切なものはどれか。次の1～4から一つ選べ。

- 1 書き手の心の生活に訪れた感動や発見を学ぶことで、読み手は未熟な自身を思い知る。
- 2 書き手の心の生活に訪れた感動や発見を糧にして、読み手の人間性を高める。
- 3 書き手の心の生活に訪れた感動や発見を読み解き、読み手も心の生活に起ったこととして追体験する。
- 4 書き手の心の生活に訪れた感動や発見を知ること、少しでも道元に近づく努力を重ねる。

解答欄(34)にマークすること

以上で問題は終わりです。

一般入試 解答

国語 一般入試 I 期B

大問	解答番号	解答	大問	解答番号	解答
一	1	2	二	19	2
	2	1		20	4
	3	4		21	3
	4	4		22	1
	5	4		23	3
	6	1		24	2
	7	2		25	4
	8	1		26	3
	9	3		27	4
	10	4		28	1
	11	3		29	4
	12	2		30	2
	13	4		31	1
	14	1		32	2
	15	2		33	4
	16	3		34	3
	17	4			
	18	1			